愛西力を高める方法

大野則男議員

質問

市民から合併してよかったと聞くことが少なく、「合併時のサービスは高く負担は軽く」の約束をほごにせざるを得ない訳を整理すべきだ。とりわけ教育問題では、不登校、学力の情報開示「愛知県下で愛西市の学校が、どの位置にいるのか、何が弱いのか」市として学力の向上のためにどんな方法を取っているのか。

教育部長

総合計画の基本施策で、8つの項目で進めている。

不登校生については、県派遣のスクールカウンセラーが、全中学校に派遣されており、市雇用の臨床心理士とも連携をとり対策を充実させ、市江コミュニティで、学校生活適応教室を運営して保護者へも周知を図っている。

学力向上については、国際理解力を高めるためにALT・外国語指導補助員を配置して、指導している。市として全国学力・学習状況調査などの情報は現段階では開示しない。

質問

まちの活性化、愛西力を高めるため、コミュニティが、これからどうあるべきと考えているか。地域の特性を活かし、きめ細かい単位で、地域課題に取り組むべきだが、モデル地区を定め、市民と協同で、地域まちづくり計画を定めるべきではないか。

企画部長

財政も厳しく地域の事は地域を一番よく知っている方々に、自治の担い手となってもらうコミュニティが重要な役割と考えている。

コミュニティは、小学校区に1つずつが基本で、リーダーを養っていく事が、これからの課題の一つと考える。

質問

企業誘致について。

なぜするのか。なぜその場所に決めたか。工程表をなぜ明らかにしないのか。企業誘致のみならず都市計画を全体で考え、永和駅周辺整備も進めるのか。

市長

永和駅周辺整備は、近隣市町村と、連携をしなければ、不可能。

津島市が、どのような方向性を持っているか確認していない。当然、住民の理解と協力がなければできない。

経済建設部長

企業誘致は、自主財源の確保・雇用の場の提供・活性化と発展になる。

弥富インター周辺地区は、農業振興区域の優良農地で、南河田地区に比べ地盤も低く造成費が高く、用地単価も2倍程度高い。企業庁と市が協議して分譲可能であるので南河田地区に決めた。

前市長時に、4億円でインター周辺の企業誘致のために、予算を投じ道路整備した。

愛西佐織地区　開発スケジュール